

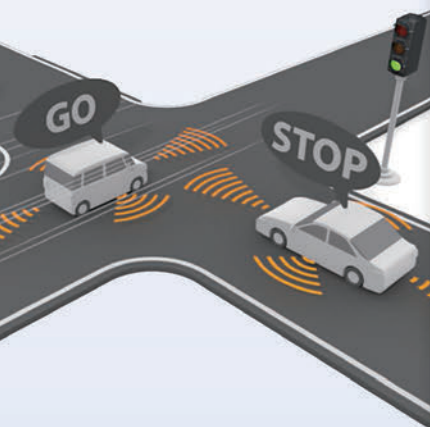


明治大学

第3回公開シンポジウム

対話が誘う
文理融合
の世界

自動運転社会 — AI社会 —



自動運転社会に対する期待は日に日に大きくなっています。一方では、事故を起こした際には誰が責任を負うのか、保険制度はどのように変わるのかなど、社会的難問が未解決であることも明らかになりました。明治大学はこのような観点からいち早く模擬裁判を行い、大きな注目を集めました。自動運転社会の法制度や社会システムのあるべき姿のみならず、必要とされる産業技術なども、模擬裁判を通じて深く理解することができます。本シンポジウムでは、文理融合の代表格である自動運転社会 (AI社会) を取り上げ、来場者とともにその新鮮な世界を探訪します。

主催：
明治大学
文部科学省 平成28年度私立大学研究ブランディング事業 採択
「Math Everywhere：数理学する明治大学-モデリングによる現象の解明-」
明治大学先端数理科学インスティテュート
明治大学自動運転社会総合研究所

13:00 -13:10 挨拶 土屋恵一郎 明治大学学長

第1部 フロントランナーが語る自動運転社会

13:15 -13:45 **自動運転がもたらす新しい社会システムと産業**
佐治友基 SB Drive 株式会社代表取締役社長兼 CEO

13:50 -14:20 **自動運転がもたらす保険業界の変化**
中林真理子 先端数理科学インスティテュート所員
自動運転社会総合研究所所員

14:25 -14:55 **自動運転車の人間中心設計を支援するヒューマンファクター研究**
北崎智之 (国研) 産業技術総合研究所
自動車ヒューマンファクターセンター長

15:10 -15:25 **明治大学研究ブランディング事業の自動運転への関わり**
荒川 薫 先端数理科学インスティテュート所員

15:30 -16:00 **自動運転の数理学**
萩原一郎 先端数理科学インスティテュート所員
自動運転社会総合研究所所員

第2部 自動運転の光と影

16:10 -16:40 **模擬裁判：模擬の事故事例と責任問題**
中山幸二 自動運転社会総合研究所長

16:45 -17:30 パネルディスカッション
17:30 -17:40 質疑応答
17:45 閉会

日時：2018年12月14日 (金) 13:00~17:45
会場：明治大学駿河台キャンパス アカデミーホール

※ 入場無料。事前に参加申込をお願いします。
申込フォームはこちら→

<https://goo.gl/forms/QHutm69DpG4BuRNk1>



講演者紹介

第1部 フロントランナーが語る自動運転社会

13:15 -13:45



自動運転がもたらす
新しい社会システムと産業

佐治友基

SB Drive 株式会社代表取締役社長 兼 CEO

自動運転の実証実験を実施する中で、自動運転の実現には社会システムの改革も必要と感じるし、実現したらおのずと社会システムも変わる。それにつれて新たな産業も生じる。これらについて考察する。

ソフトバンクモバイル株式会社入社、孫正義による後継者発掘・育成プログラム「ソフトバンクアカデミア」第1期生、2016年SBドライブ株式会社設立代表取締役社長 兼 CEO 就任、先進モビリティ株式会社社外取締役

13:50 -14:20



自動運転がもたらす保険業界の変化

中林真理子

明治大学先端数理科学インスティテュート所員
明治大学自動運転社会総合研究所所員

わが国の損害保険市場では、自動車保険と自賠責保険を合計すると約6割のシェアを占め、自動車保険には事故歴を反映させる独自の等級別料率制度が導入されている。このような市場への自動運転技術導入がもたらす変化について考察する。この際、諸外国の事例や、サイバーリスク等の新たなリスクにも言及する。

明治大学商学部教授、博士(商学)、専門は保険学・リスクマネジメント

14:25 -14:55



自動運転車の人間中心設計を支援する
ヒューマンファクター研究

北崎智之

(国研)産業技術総合研究所
自動車ヒューマンファクターセンター長

完全自動運転に至る前の部分的/条件付き自動運転においては、人間中心設計を怠ると新たな事故のリスクが発生する。SIP自動走行ヒューマンファクター研究において取り組んでいる、ドライバーがシステムと正しく協調するための、人の能力の理解や能力を高めるヒューマン・マシン・インターフェースの研究について紹介する。

京都大学大学院修士課程修了、日産自動車株式会社、英国 Southampton 大学にて Ph.D. を取得、2012~2015年米国 Iowa 大学教授、2015年より現職

15:10 -15:25



明治大学研究ブランディング事業の
自動運転への関わり

荒川 薫

明治大学先端数理科学インスティテュート所員

「数理科学する明治大学」は自動運転にまで波及した。ブランディング事業で進めているテーマの一つに「機械学習による快適介護空間」がある。ここで活用される機械学習は自動運転においても重要な要素であり、双方の研究により機械学習のさらなる展開が得られることなどを述べる。

明治大学総合数理学部先端メディアサイエンス学科教授、明治大学先端数理科学インスティテュート所員、工学博士

15:30 -16:00



自動運転の数理科学

萩原一郎

明治大学先端数理科学インスティテュート所員
明治大学自動運転社会総合研究所所員

衝突特性、乗り心地、操縦安定性などに加えて、機械学習、画像が加わり、自動運転車に関わる数理科学もより深く広がっている。レベル3では自動車自身の状況判断力、レベル4、5では乗り心地が重要となる。これらに数理科学として従来と異なる機械学習、最適制御が必要となることを述べる。

明治大学研究知財戦略機構特任教授(明治大学先端数理科学インスティテュート前所長)、東京工業大学名誉教授、工学博士

第2部 自動運転の光と影

16:10 -16:40



模擬裁判：模擬の事故事例と責任問題

中山幸二

明治大学自動運転社会総合研究所所長

機械学習システムを搭載した自動走行車の緊急回避問題を取り上げる。自動運転車と手動運転車の混在する交通下で、対向車線の渋滞中に車の陰から飛び出してきた自転車と避けるため、緊急回避の行動をとった自動運転車の事故シーンを想定した模擬裁判を紹介し、次のパネル討論のベースを提供する。

明治大学専門職大学院法務研究科教授、専門は民事訴訟法・ADR・司法制度論

文部科学省 平成28年度 私立大学研究ブランディング事業採択「Math Everywhere：数理科学する明治大学-モデリングによる現象の解明-」



日時：2018年12月14日(金) 13:00~17:45
会場：明治大学駿河台キャンパス アカデミーホール

◆シンポジウム情報掲載Webページ◆
<http://www.meiji.ac.jp/koho/math-everywhere/symposium2018-12/>

◆お問い合わせ◆

明治大学先端数理科学インスティテュート シンポジウム開催事務局
〒164-8525 東京都中野区中野4-21-1 明治大学中野キャンパス高層棟8階
E-mail: math_everywhere@meiji.ac.jp | Web site: <http://www.mims.meiji.ac.jp/index.html>

主催：

明治大学

文部科学省 平成28年度私立大学研究ブランディング事業採択「Math Everywhere：数理科学する明治大学-モデリングによる現象の解明-」

明治大学先端数理科学インスティテュート

明治大学自動運転社会総合研究所